

「ヤコブ、ヨセフの生存を知る」

2021年07月22日

彼らは、ヨセフが語ったことをすべて父に話した。父ヤコブは、ヨセフが自分に乗せるために送った車を見て、気を取り直した。イスラエルは言った。「うれしいことだ。息子のヨセフはまだ生きていたとは。さあ行って、死ぬ前に顔を見たいものだ。」(創世記 45 章 27 節～28 節)

ヨセフは兄弟に、「私はあなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです。しかし今、私をここに売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神があなたがたより先にお遣わしになったのです」と言った。自分の苦難は、神が救いに与らせるために用意された歩みであったと言う赦しの言葉に兄弟は言葉を失い、感激した。

ヨセフは、兄弟に語りかけた。2年の間、飢饉は起こっているが、更に5年間は続くでしょう。神が私をエジプトに遣わされたのは、あなたがたを生き長らえさせ、救いに至らせるためである。私をここに遣わされたのは、あなたがたではなく、神である。神が私をエジプト全土を治める者とされた。私をエジプトの宰相とし、あなたがたを救うために先に遣わしたのは神であると、神の導きを再度、力説した。父のもとに上り、言ってください。「息子のヨセフがこう言っています。神が私をエジプトの主とされました。どうかためらわずに、私のところに下って来てください。ゴシェンの地に住んで、私の近くで暮らしてください。飢饉はまだ五年続きますから、あなたも家族も、その他すべてのものも困らないように、そこでのお世話は私がいたします。…そして、急いで父を連れて、ここに下って来てください。」「ヨセフは弟ベニヤミンの首を抱いて泣いた。ベニヤミンもヨセフの首を抱えて泣いた。」ベニヤミンが幼い時に別れ、20年ぶりの再会で、二人は、心からの喜びを、涙で交わし合った。ヨセフは兄弟皆に、口づけし抱き合って泣いた。

ヨセフの兄弟が来たという知らせは、宮廷に伝わり、ファラオの耳にも入り、喜んで家臣たちに言った。「兄弟に、こうするように言いなさい。『家畜に荷を積んでカナンの地に戻って行きなさい。そして父と家族を私のもとに連れて来なさい。エジプトの地の最良の地を与えるから、その地の最上のものを食べなさい。』」ヨセフは、ファラオの命令に従って、彼らに車と道中の食料を与えた。また、全員に晴着を与え、ベニヤミンには銀300シェケルと晴着5着を与えた。実弟ベニヤミンには、特別の計らいをしている。更に、父ヤコブには、エジプトの最上のものを積んだ雄ろば10頭と、穀物と食料、父の道中に必要な食料を積んだ雌ろば10頭を与えた。ヨセフは、「途中争ったりしないでください」と言い、兄弟を送り出した。彼らは、ヨセフに遭えたこと、神の不思議な導きに感謝して、喜びに溢れて、カナンに上って行った。

カナンの父のもとに着いて、報告した。「ヨセフはまだ生きています。しかも、エジプト全土を治める者になっています。」父は呆然とし、息子たちの言うことが信じられなかった。彼らはヨセフが語ったこと、エジプトで起こった全てのことを父に話した。「父ヤコブは、ヨセフが自分に乗せるために送った車を見て、気を取り直した。イスラエルは言った。『うれしいことだ。息子のヨセフはまだ生きていたとは。さあ行って、死ぬ前に顔を見たいものだ。』」信じられないような話を聞いたが、父のために用意された車を見て、ようやく、信じることができた。死んで、会えないと思っていた、愛するヨセフの生存を知った。死ぬ前に、ヨセフに会いたい。父ヤコブは、生涯の中で最高の喜びを噛みしめた。